

1990年代の恋愛と青春にまつわるノスタルジックな記憶

青春期の葛藤・苦悩・逡巡

- **校則や大人への反発:** 当時、多くの高校生は厳しい校則や大人の価値観に反発し、自分なりの表現を模索しました。髪を茶髪や金髪に染めたり、女子は制服に**ルーズソックス**を合わせる「コギャル」風の着こなしが流行（校則が厳しい学校では駅で指定ソックスから履き替える生徒も）¹。男子も学ランの着崩しやケンカ自慢で「男らしさ」を誇示し、先輩と衝突することも日常茶飯事でした。こうした小さな反抗が、自分の居場所とプライドを支える青春の証でもありました。
- **友人関係と自己探し:** 仲間とつるみながらも、「本当の自分」を理解してもらえない孤独や、自分だけが周囲と違うのではという悩みを抱えることも。クラスの派閥やいじめに悩んだり、親友との些細な行き違いに傷つくなど、人間関係の葛藤は尽きませんでした。誰にも言えない胸の内は日記や**交換日記**に綴ったり、深夜に一人で考え込んだり…。思春期ならではの繊細さで、自分の生き方・居場所を模索する逡巡も青春の一コマです。
- **深夜ラジオと心の叫び:** 将来や恋に悩む夜、更けまで起きてラジオや音楽に耳を傾けた記憶も多くの人に共通します。部屋では借りたCDを録音したMDを流し、勉強そっちの**深夜ラジオ**のハガキ職人たちのトークに笑ったり涙したり²。尾崎豊やNOKKOなど等身大の歌詞に共感して、自分もノートに詩を書きなぐった経験もあるでしょう。「こんな閉塞感から抜け出したい!」という叫びを胸に秘めつつ、それでも明日が来るのをどこか期待していたのがあの頃の思春期でした。

受験期の緊張感と進路への不安

- **受験戦争のプレッシャー:** 現在50代前後の世代は、まさに**受験戦争**真っ只中の青春を過ごしました。団塊ジュニア世代の競争率は高く、有名校合格に向けて塾や予備校に通い詰め、毎日夜まで勉強漬け³。世界史の細かな年号まで暗記する詰め込み型の勉強は「頭に知識を詰め込むだけ」とも揶揄されましたが³、それでも落ちこぼれる不安に駆られながら必死に食らいついたものです。試験前のピリピリした空気、親の期待と重圧、「浪人だけは避けたい」という焦燥感…受験期の緊張感は今でも悪夢に見るほど鮮烈です。
- **センター試験元年世代:** 1990年代から**大学入試センター試験**（共通一次からの変更）が始まり⁴、ちょうどこの世代はその洗礼を受けました。初めて尽くしの試験制度に戸惑いながらも過去問を集め対策したり、会場ではマークシートに震える手で記入したり…。試験当日は雪やインフルエンザとの戦いでもあり、「センター試験=冬の風物詩」として今も語り草です。合格発表で自分の番号を探すあの心臓の高鳴りと、掲示板に番号がなかったときの真っ白になる感覚も、青春の忘れられない一場面でしょう。
- **将来への漠然とした不安:** この世代の青春期には**バブル崩壊**が重なり、日本全体が長い不況のトンネルに入り始めた時代でもありました。「失われた10年」と呼ばれた90年代、不景気の中で若者の将来不安がここから始まったとも言われます⁵。内定取消や就職氷河期といったニュースを横目に、「勉強しても報われないのでは?」という不安が胸をよぎった人も。当時は終身雇用神話が崩れかけ、「いい大学に入れば安泰」という図式に陰りが見えた過渡期でした。それでも、自分の夢と現実的な進路との狭間で悩み抜いた経験は、その後の人生観にも大きな影響を与えているように思います。

初恋・失恋と別れの記憶

- ・**初恋のときめき**: 90年代青春の象徴と言えば、やはり初恋の甘酸っぱさです。好きな人と同じクラスになっただけで舞い上がり、休み時間に視線を追って胸が苦しくなったあの感じ…。下駄箱にラブレターが入っていないか毎日ドキドキしたり、放課後に下校のタイミングをさりげなく合わせようとしていたり。**バレンタインデー**には意を決して手作りチョコを渡し、ホワイデーのお返しに一喜一憂。初めて手が触れ合った瞬間の電流が走るようなときめきは、大人になった今でも色褪せない青春の宝物です。
- ・**告白の勇気と逡巡**: 好きな人に思いを伝える「告白」は、青春最大のイベントでした。直接「好きです」と伝える勇気が出せず、放課後の校舎裏に呼び出してはみたものの言葉が出てこなかったり、代わりに手紙を渡して逃げ帰ったりという経験、覚えはありませんか？ 90年代半ばには**ポケベル**で「14106」（愛してる）など数字の暗号メッセージを送り合う文化も生まれ⁶、電話が苦手な奥手な男女も必死に想いを伝えました。それでも「もし振られたら…」と何週間も告白を逡巡し続けたあの時間も、振り返れば青春の煌めきだったのでしょう。
- ・**失恋の痛み**: 初恋が実らずに味わう初めての失恋の痛みも、50代の心に今なお残る青春の傷跡です。好きだった人に彼女（彼氏）がいると知ってショックを受けたり、勇気を出した告白が「ごめん」の一言で終わってしまったり…。部屋にこもって流行りの失恋ソングを繰り返し聴きながら泣いた夜もありました。「**ポケベルが鳴らなくて**」という曲がヒットしたように（同名のドラマも社会現象に）⁷、相手からの連絡をひたすら待ち続けて鳴らない電話に泣いた記憶も思い出の一頁です。それでも時間が経てば失恋も糧となり、「あの頃は本気で人を好きになれたな」と懐かしく思えるのが不思議ですね。
- ・**別れと旅立ち**: 卒業や引っ越しによる**別れ**も、この世代の青春を語る上で欠かせません。クラスメイトや部活仲間との卒業式での別れでは、校歌斉唱や送りの言葉で涙が止まらなくなった人も多いでしょう。好きだった人とは進路が別れ、「元気でね」と精一杯笑って駅のホームで手を振った夕暮れは忘れられません。卒業式といえば有名なのが**第二ボタンの風習**です。女子が好きな男子の学生服の第二ボタンを記念にもらうこの習慣はほとんどの人が知っており⁸、実際にもらった・あげた経験がある人は3人に1人にのぼりました⁹。胸のボタンを渡す瞬間の「じっと目を見つめられず真っ赤になった」「勇気を振り絞って声をかけた」等のエピソードは、今聞いても胸がキュンとする青春のワンシーンです。離れ離れになっても文通や電話で関係を続けようと約束したものの、次第に途絶えてしまった初々しい遠距離恋愛の思い出まで含めて、別れもまた青春のほろ苦い一幕でした。

地方（田舎）でのデートスポット・過ごし方

- ・**限られた遊び場での工夫**: 地方・田舎に暮らす高校生カップルにとって、デート場所の選択肢は決して多くありません。地元にはせいぜい**イオンなどのショッピングモール**くらいしか娯楽施設がなく、「毎回イオンじゃ芸がないよね…」と頭をひねったものです。結局、お互いの家でこっそり会うか、電車で揺られて少し離れた「街らしい街」まで出かけて映画館やカフェを巡るのがお決まりでした¹⁰。田舎の雑貨屋さんで文房具を一緒に選んだり、レンタルビデオ店で借りた映画を家のテレビで見ただけでも二人には十分特別なデート。本屋や駄菓子屋など、ごくありふれた場所が当時のカップルにとっては大切な思い出の舞台です。
- ・**自然の中でのんびりデート**: 都会のような派手なスポットがない分、田舎では**自然や日常の風景**の中でゆったり過ごすデートが定番でした。天気の良い週末には近くの公園で待ち合わせてお弁当を広げ、芝生でピクニックをしながら他愛もない話で盛り上がる¹¹。バドミントンやキャッチボールなど体を動かす遊びもできて、一緒に笑い合う時間そのものが貴重でした。また、自転車の二人乗りで田んぼ道を走った夕暮れや、星がきれいな夜に郊外の空き地で天体観測をした思い出を持つ人もいます。何もない“贅沢”こそが、田舎デートの醍醐味だったのです。
- ・**季節行事に寄せる想い**: 地方では地域のイベントが最大の娯楽。中でも**夏祭り**はカップルにとって年に一度のビッグチャンスでした。好きな人と浴衣で地元のお祭りに行き、屋台の金魚すくいや焼きそばと一緒に楽しむ——花火が夜空に打ち上がる中、緊張しすぎてうまく話せなかった初デートの思い出¹²は、まさに青春そのものです。祭りの帰り道、少しでも手をつなぐ勇気を出してみたり、浴衣姿を褒められて胸が高鳴ったりといった甘酸っぱい記憶が今も蘇ります。また、田舎の**花火大会**や**秋祭**

りは人混みも少なく、二人でゆっくり雰囲気を楽しむため、かえってロマンチックだったという声も。季節ごとの地域行事がカップルの貴重なデート機会となり、その度に関係が深まっていったものです。

- ・**ドライブの憧れ**: 高校生当時は運転免許こそ無いものの、少し年上の彼氏・彼女や先輩に車で**ドライブデート**に連れて行ってもらった記憶も一部にはあります。夜景スポットのある山の展望台や、人けのない海岸沿いの道路まで車を走らせ、カーオーディオから流れるお気に入りの曲をBGMに語り合う時間は田舎ならではの醍醐味でした。街灯の少ない真っ暗な道でドキドキしたり、「いつか自分達も車で遠出しようね」と未来の約束をしたり…。車内というプライベート空間で過ごすひとときに、大人への一歩を感じた青春の夜です。

1990年代当時の文化的背景いろいろ

- ・**コミュニケーション手段**: まだスマホもLINEもない時代、恋と友情の連絡手段は限られていました。中でも**ポケットベル（ポケベル）**は1990年代に女子高生を中心に爆発的ブームとなり¹³、小さな画面に表示される数字の語呂合わせで密かなメッセージのやりとりが流行しました。「0840＝おはよう」「14106＝愛してる」といった**数字の暗号**で会話する文化が生まれ¹⁴、好きな人から届く「シグナル」に一喜一憂したものです。一方で自宅の**固定電話**も重要でした。好きな人に電話するにも家電しかないため、相手の親御さんが出る可能性に緊張したり、深夜にこっそり公衆電話からかけて長電話したり…。**PHS携帯**が1995年にサービス開始されてから徐々に個人携帯が普及しますが¹⁵、当時の若者にとって「自由に使える連絡手段」があること自体が画期的で、ポケベル⇒PHS⇒携帯メールと通信ツールが進化するたびに友情・恋愛の風景も変わっていきました¹⁶。
- ・**音楽・テレビドラマ**: 90年代は**J-POP全盛期**で、多くの青春ソングが生まれました。特にトレンドドラマの主題歌がミリオンヒットになる傾向が強く、1991年の『東京ラブストーリー』の主題歌小田和正「ラブ・ストーリーは突然に」は当時の若者の心に刺さる国民的ラブソングでした¹⁷。毎週月曜9時のドラマに胸をときめかせ、翌日学校で友達と内容や主題歌の話で盛り上がるのも青春の日常です。また、小室哲哉プロデュースによるいわゆる「**TKサウンド**」が一世を風靡し、明るくキャッチーなダンスナンバーが暗い世相の中で若者を元気づけました¹⁸。「就職も大変らしいし将来真っ暗？」と漠然とした不安を抱えつつも、安室奈美恵やTRFの曲に合わせて踊れば嫌なことも吹き飛んだものです。音楽再生メディアはレコードからCDへ移行し、みんな**CDコンボ**を持ち始めた時代。お気に入りの曲を**カセットテープ**や**MD**にダビングして好きな人に貸し合う、「マイベストMD」を作ってプレゼントするといったコミュニケーションも盛んでした²。音楽とテレビが常に青春の隣にあり、恋愛の後押しをしてくれたのが90年代なのです。
- ・**遊び・エンタメ**: インターネットが普及していなかった当時、若者の娯楽は実際に集まって遊ぶことが中心でした。放課後や休日は仲間と**カラオケボックス**へ繰り出し、90年代ヒット曲をみんなで熱唱してストレス発散！ ゲームセンター（**ゲーセン**）も人気スポットで、ストリートファイターIIや太鼓の達人などアーケードゲームに熱中しました。特に**対戦格闘ゲーム**全盛期で、鉄拳やバーチャファイターの筐体の周りにはギャラリーができたものです¹⁹。さらに1995年に登場したプリントシール機「**プリクラ**」は、女子高生たちの間で爆発的ブームに²⁰。友達同士やカップルで何度も撮ってはシールを交換し合い、手帳（プリ帳）にびっしり貼ってコレクションするのが定番でした²¹。出来上がったプリクラに落書きしたり、シールをクラスメイトに配って「推し」のプロフィール帳に貼ってもらったりと、青春の記録はいつもキラキラのシールと共にありました。また、**たまごっち**など携帯ゲーム玩具も社会現象となり、1996～97年にはお世話を怠ってキャラクターが死んでしまうとショックで“たまごっちロス”になる人が続出²²。デジタルとアナログが混在した独特の遊び文化も、90年代ならではの思い出です。
- ・**ファッションと流行**: 90年代の若者文化を語る上で**ファッション**の影響は見逃せません。女子高生の間では前述のルーズソックス＋ミニスカ制服の**コギャルスタイル**が大流行し、渋谷の街を闊歩する姿が象徴的でした¹⁶。日焼け肌に厚底ブーツ、ヘアメイクも茶髪に細眉のギャル文化が一部で盛り上がる一方、一般の学生も制服のスカート丈を短くしたり指定バッグをブランド物に替えたりとお洒落に敏感でした。男子はボンタンや腰パン（腰履き）でやんちゃにキメる風潮があり、有名ブランドの**スニーカー**もステータスでした。特に**エアマックス（Nike）**などは入手困難な人気で、履いて行くと盗まれたり「エアマックス狩り」に遭う恐れがあるほどだったといえます²³。また、裏原宿系

ファッションやアメカジが流行り、古着のデニムやスニーカーを個人輸入するのがオシャレ上級者でした¹⁶。一方で校則で制服の改造や私服通学を禁止されている学校も多く、校門では服装検査に戦々恐々…という場面も。好きなアーティストの真似をしたい気持ちと校則との板挟みも青春あるあるです。流行の発信源は雑誌やテレビで、『東京ストリートニュース』や『egg』などティーン向け雑誌をみんな回し読みして最新トレンドをチェックしたものです。

こうして振り返ると、1990年代の日本における恋愛や青春の思い出は、時代ならではの文化的背景と切り離せない「青春の痛み」に満ちています。不便さや不自由さがあったからこそ募った想い、閉塞感の中できらめいた小さな喜び——その一つひとつが今、50代になった人々の胸にノスタルジーとして蘇り²⁴、「あの頃があったから今の自分がいる」と静かに人生の糧になっているのかもしれません。青春期の葛藤も恋の飲²⁵びも挫折も、すべてが当時の文化の空気をまとって色濃く心に刻まれているのです。²⁵ ¹⁸

¹ 90年代の高校生の学校生活ってどんな雰囲気でしたか？大学生でもいいです。 - ... - Yahoo!知恵袋
https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14261603439

² 90年代世代の方に質問です。1990年代の高校生エピソードをたく... - Yahoo!知恵袋
https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12313401022

³ 学歴は自分が輝いていた頃へのノスタルジーである (4ページ目) | PRESIDENT Online (プレジデントオンライン)
<https://president.jp/articles/-/13961?page=4>

⁴ ⁵ ¹⁷ ²⁴ ²⁵ 【特集】蘇る？私たちの90年代 | 慶應塾生新聞デジタル
<https://www.jukushin.com/archives/22645>

⁶ ¹³ ¹⁴ ¹⁸ 90年代の流行・コギャル文化特集 | Infoseekニュース
<https://news.infoseek.co.jp/feature/1990s/>

⁷ ²¹ 無線呼び出し - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%84%A1%E7%B7%9A%E5%91%BC%E3%81%B3%E5%87%BA%E3%81%97>

⁸ ⁹ 卒業式に第二ボタンをあげた？もらった？卒業に関する風習を調査 | 引っ越し見積りサイト『引越し侍』
<https://hikkoshizamurai.jp/press/press028/>

¹⁰ ¹¹ 田舎の高校生のカップルっていつもどこでデートしていますか？ ... - Yahoo!知恵袋
https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10288615150

¹² 夏祭りの思い出01-みんなの広場
<https://www.hontaka.jp/hiroba/?p=925>

¹⁵ ²⁰ 『昭和・平成 出来事&流行&ヒット商品年表！21』～1995年には何が起きた？～ | 株式会社エウレカ
<https://eureka-biz.com/zatugaku/9984/>

¹⁶ ²² 覚えてる？当時の若者がこぞってハマった90年代の大ブーム8選 | 新生活・引越し | ruum
https://www.ruum.me/shop/cms/article_271.aspx

¹⁹ ²³ 平成レトロ？今となればエモの塊90年代 | 多田尚人
<https://note.com/naototada/n/n93503a41f6b5>